

会議の実施日時	令和7年3月17日（月）19:00～19:40（Web会議）
（1）新規開業者等へ「不足する外来医療機能」を担うよう申出書の提出を求めることについて	
資料1により、事務局から説明 〔質疑等〕なし	
（2）外来医療計画に基づく医療機器の共同利用計画について	
資料2により、事務局から説明 〔質疑等〕なし	
（3）令和6年度紹介受診重点医療機関の確認について	
資料3により、事務局から説明 〔質疑等〕なし	
（4）府中北市民病院の備北メディカルネットワークへの参加について	
資料4により、府中北市民病院から説明 <ul style="list-style-type: none">三次市、庄原市、府中市上下町は、過疎と高齢化が進む中山間地域である。地域医療に関して、人的・物的リソースの不足など、共有の課題に直面している。 府中市上下町は、三次市甲奴町や庄原市総領町に距離が近く、三次市や庄原市に通勤通学し、両市内の医療機関をかかりつけ医としている患者も少なくない。 医療従事者が不足している当該地域では、大学や行政などの団体との連携とその強化が必須であり、効率的な地域医療の実現のために、同じ課題を抱える病院等が一体となって対応していく必要性が非常に高い。 参加することによって、医療従事者の確保や地域包括ケアの推進などを一体的に進めることができ、それにより限られたリソースを有効に活用することが可能と考える。 医療連携推進区域が2つの地域医療構想区域にわたるとしても、広島県の地域医療構想の達成に資するものと考えている。 <p>〔結果〕 備北メディカルネットワークの医療連携推進区域に府中市上下町を加えること、備北メディカルネットワークへ府中北市民病院が参加することについて、反対意見はなく合意を得た。</p> <p>〔質疑等〕 府中北市民病院と府中市市民病院は人事交流をしっかりとされていたと思うが、今回、府中北市民病院がこの備北メディカルネットワークに入ることによって、府中市市民病院と、府中北市民病院との人事交流に変化はないのか。</p> <p>（府中北市民病院） 備北メディカルネットワークには参加するが、運営そのものは府中市市民病院が行う。 府中北市民病院と府中市市民病院は同じ法人の職員のため、今までどおり引き続き必要な人事交流は行う。変更するようなことは考えていない。</p>	